

三

責任者 直方市 原 喜 久 松

古河目尾炭坑に争議の火の手は炎へ上つた血盟の従業員數十名は争議團を結成して起つた

古河の無理非道を労働者搾取に此のガマンが出来るか

俺達が設備不完全な坑内で危険に身を曝し血を流した一噸僅

か三十錢の切實の石炭が十圓の高値で賣れて古河は朝晩俺達

の御蔭で濡手で粟のツカみ取ゝりだ

だが俺達がケガや病氣の時の扱はどうか？

坑内外の設備は如何？

敵首の時の手當でもあるか今度の争議は一切の解決に絶好の

秋だ、モツテ来いのヨイ時機だ

勝利の見透は確實だ争議團の結束は鐵の如く固し

坑内外を擧げて争議の陣營にナダレ込め

労働者の勝利の爲めに

四

暴戾古河目尾炭坑に抗争する従業員 の 聲明書

過去數年に亘る不況の年月會社は不景氣の損失を全部吾々労働者に背負わせて來た、吾々は最悪なる労働條件を押しつけられて今日に及んだ

然るに本年上半期以來炭界急激の好調を告げ更に來る四月の年度替りを豫期して石炭黄金時代を現出して居るにも不拘強慾非道な古河は

(一)炭車を倍大にして仕事をコツビドクして能率増大の割には實

質的賃金の値下をやり牛馬の如く吾々をコキツカつて居る

(二)傷病患者の取扱に至つては醫は仁術の本義に悖り患者泣かすや

(三)邪惡卑屈な勞務係の氣に入らねば十年一日の如く辛抱した坑夫も一文の解雇手當を遣らず卑劣陰險な手段で追ひ出す